

第4回検討会における指摘事項

基本構想における「基本的な考え方」

「施設機能」

「基本的な役割」

共用部の多機能性や居心地

- 目的がなくても気軽に利用できる
- 訪問者が文化芸術に触れる機会を設ける
- 活動の様子を見せ、活気や開放感を演出
- 稼働率の上昇
- 大ホール待機列の場所を広く確保
- ↔④⑨⑩ホール内の空間や、搬出入スペースは相対的に狭くなる

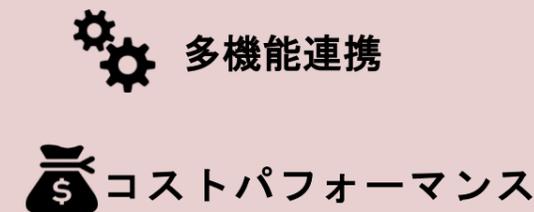
- ①エントランス: 滞在可能なスペース
- カフェ・②売店: 1階でチケット売り場機能を兼ねる
- ⑬活動室や会議室: 何階でも良く、ガラス張りにする
- ③展示室: 会議室としても使用でき、活動の様子見せる
- ⑨⑩大ホールを1階に、④小ホールや③展示室等を2階に配置することも検討(※図には反映せず)



コンパクトで柔軟性のある諸室仕様

- 合理的な室数と配置の実現
- 小規模な練習活動など、現施設で対応できていない活動での利用
- 新文化ホールに必要な諸室数を圧縮

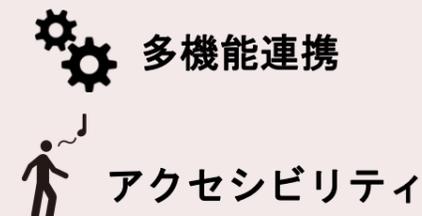
- ⑬会議室(和室を含む): 現施設の利用率を分析した上で室数を決定(機能統合も要検討)
- 小規模かつ防音性能を備えた室を複数整備
- 周辺施設における会議室運用の工夫を検討
- 諸室をつなげて大部屋として使える構造
- ⑬活動室が⑤楽屋機能を兼ねる



幅広い需要への対応

- 展示品が多くの人の目に触れる場を作る
- 展示品の管理が必要な催事にも対応
- 小規模な発表会や本番リハーサルなど幅広く対応可能な室
- 指揮者の招聘や男女別使用等に対応可能な⑤楽屋
- 市民団体などの主催者にとって使い勝手が良く、高い需要を満たす④小ホール

- ①エントランス: オープンな展示空間を備える
- ③展示室: 入退場が管理できる空間構成
- ⑪リハーサル室: 防音性能
- ④小ホール: 平土間形式
- ⑤楽屋: 大部屋が2室以上必要
- ④小ホール: 現施設と同じ約300席規模



搬出入の利便性の確保

- 物品の多い演劇や、大型催事等の開催を可能に
- エレベーター等の搬出入動線重複を避け⑨⑩大ホールと④小ホールで同時にスムーズな搬出入が可能に

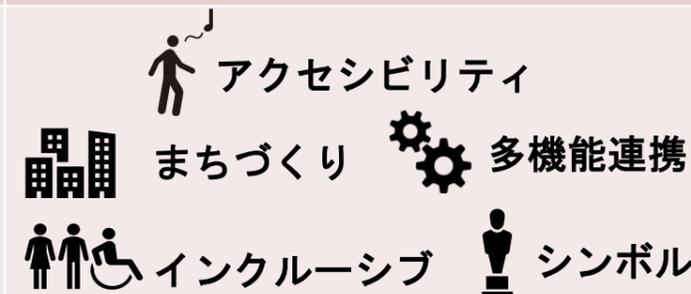
- ⑦搬出入スペース: 広く確保(11tトラック2台が同時に駐車可能+切り返しスペース)
- ⑨⑩大ホール: 2階に配置
- ⑨⑩大ホール・④小ホール: それぞれ別のフロアに配置
- ⑧関係者用出入口・関係者用駐車場: 敷地南東側へ



市総合庁舎とのつながり

- 市総合庁舎からの動線形成
- 車寄せを市総合庁舎と兼用した場合、両側に駐車スペースが必要となり、面積が大きくなる
- 歩行者の安全性確保

- ①エントランス: 半円形に大きく開き、市総合庁舎前を向く
- ⑧車寄せ: 敷地東側に設置(車両動線を歩行者の動線から分離)



敷地条件を考慮した設計

- 来館者の滞在空間と搬出入スペースの両方で広い空間を確保
- 敷地面積を踏まえた合理的な配置
- ⑩大ホール舞台と⑪リハーサル室は別フロアに配置する方が防音面でも有利
- ⑤楽屋は室数の確保を優先すべき

- ⑨⑩大ホールを2階に、③展示室を1階に配置
- ⑩大ホール舞台と⑪リハーサル室は別フロアでも可
- ⑪リハーサル室: 大小ホールで別個に設ける必要無
- ⑤楽屋: ⑩大ホール舞台と別フロアでも可



# 第4回検討会 ゾーニング検討

# 振り返り資料 (Aグループ)

第3回検討会  
明るく入りやすいエントランスを設け  
気軽な利用を促す



第4回検討会  
幅広い需要に対応可能な  
柔軟かつコンパクトな施設構成と  
近隣を含む敷地条件を踏まえた合理的な計画



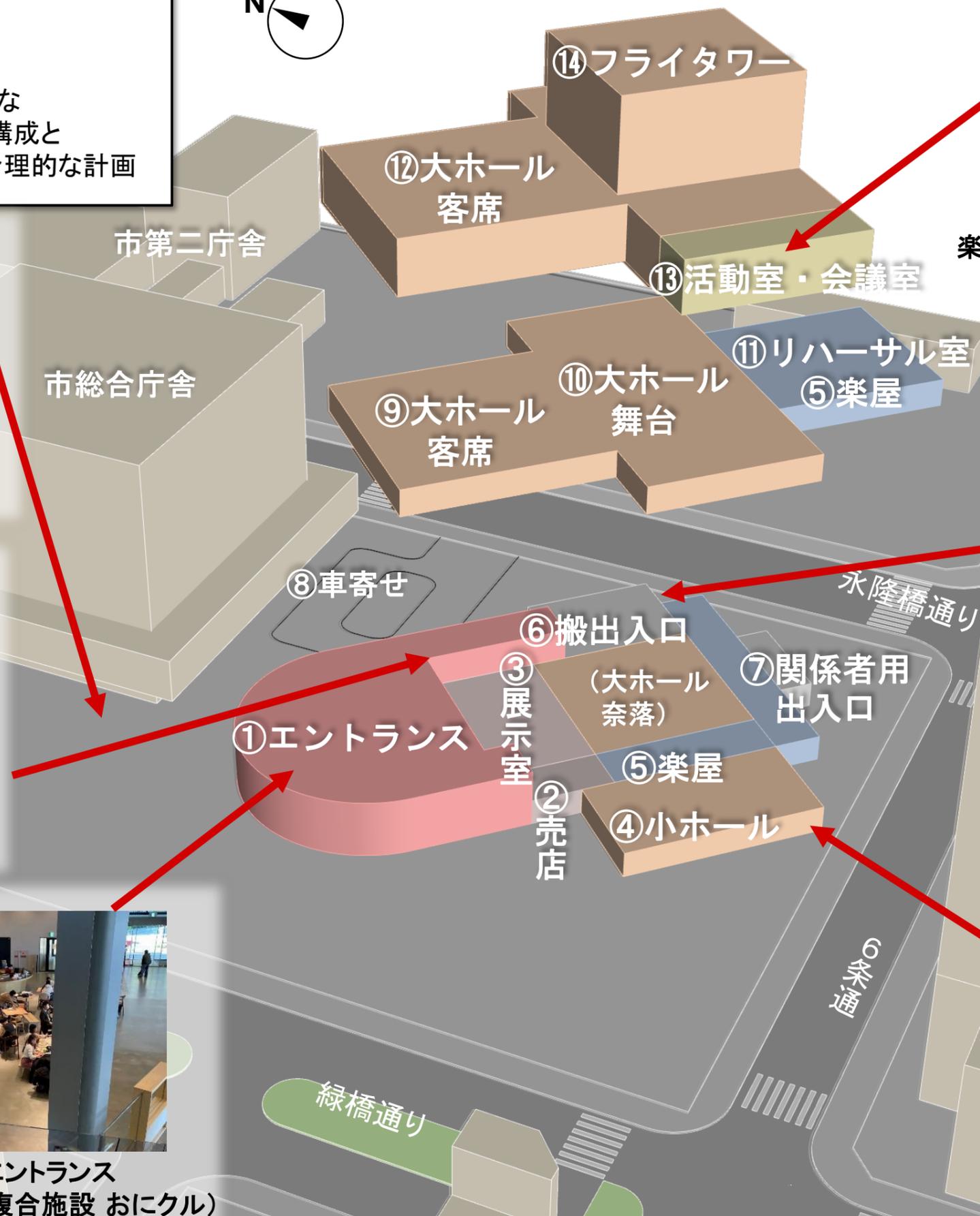
市庁舎と施設の間にある屋外空間  
(岐阜市役所・ぎふメディアコスモス)



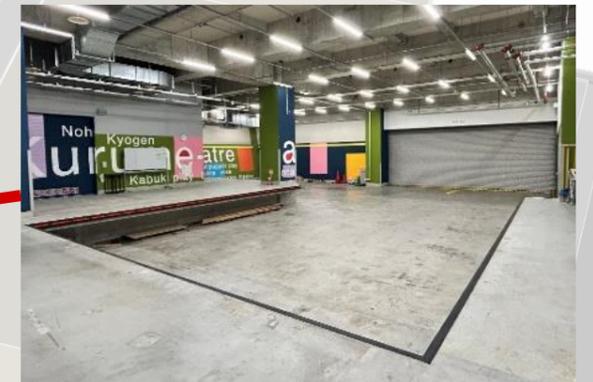
エントランスと連続した展示スペース  
(ひらしん平塚文化芸術ホール)



滞在可能なエントランス  
(茨木市文化・子育て複合施設 おにくる)



楽屋や会議室として活用可能な活動室  
(枚方市総合文化芸術センター)



11tトラック2台が同時に駐車可能  
かつ切り返しスペースを備えた  
搬出入口(久留米シティプラザ)



平土間の小ホール  
(水戸市民会館)